

富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付要綱

(令和5年3月31日告示第53号)

富里市住宅用省エネルギー設備設置補助金交付要綱（令和4年告示第85号）の全部を改正する。

（趣旨）

第1条 この要綱は、家庭における地球温暖化対策の推進に加え電力の強靱化^{じん}を図るため、住宅用設備等を導入する者に対して交付する住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金（以下「補助金」という。）について、富里市補助金等交付規則（平成19年規則第10号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

（補助金の交付対象）

第2条 補助の対象となる事業（以下「補助事業」という。）は、次条に規定する市内の住宅に、次に掲げる未使用の住宅用設備等（以下「補助対象設備」という。）を関係法令に準拠して導入する事業とする。

- (1) 家庭用燃料電池システム（エネファーム）
- (2) 定置用リチウムイオン蓄電システム
- (3) 窓の断熱改修
- (4) 太陽熱利用システム
- (5) 電気自動車
- (6) プラグインハイブリッド自動車
- (7) V2H充放電設備
- (8) 集合住宅用充電設備
- (9) 住民の合意形成のための資料

2 補助対象設備の要件は、別表第1のとおりとする。

（補助対象設備を導入する住宅）

第3条 市が補助する補助対象設備を導入する住宅（店舗、事務所等との併用住宅を含む。）は、次のとおりとする。

- (1) 定置用リチウムイオン蓄電システムを設置する住宅は、市への実績報告の日までに住宅用太陽光発電設備（太陽電池を利用して電気を発生させるための定置型の設備であって、設置された住宅において電気が消費されるものをいう。以下同じ。）が設置されていること。この場合において、接続する住宅用太陽光発電設備は、新設のものであるか又は既に設置されていたものであるかは問わないものとする。

- (2) 窓の断熱改修をする住宅は、次に掲げる要件を満たすこと。
- ア 窓の断熱改修の工事に着工する日の前日までに建築工事が完了していること。
 - イ 次のいずれかに該当すること。
 - (1) 補助事業を実施する者自らが所有し、かつ、居住する市内に所在する住宅
 - (2) 第三者が所有し、補助事業を実施する者自らが居住する市内に所在する住宅
- (3) 電気自動車又はプラグインハイブリッド自動車（以下「電気自動車等」という。）を購入する者が居住する住宅は、次に掲げる要件を満たすこと。
- ア 市への実績報告の日までに住宅用太陽光発電設備が設置され、発電した電気を電気自動車等に充電できること。この場合において、接続する住宅用太陽光発電設備は、新設のものであるか又は既に設置されていたものであるかは問わないものとする。
 - イ 市への実績報告の日までに補助事業を実施する者自らが居住する市内に所在する住宅
 - ウ 住宅用太陽光発電設備及びV2H充放電設備を併設する場合の補助を受けようとするときは、市への実績報告の日までにV2H充放電設備を設置していること。この場合において、V2H充放電設備は、新設のものであるか又は既に設置されていたものであるかは問わないものとする。
- (4) V2H充放電設備を設置する住宅は、市への実績報告の日までに住宅用太陽光発電設備が設置され、かつ、電気自動車等が導入されていること。この場合において、接続する住宅用太陽光発電設備にあつては、新設のものであるか又は既に設置されていたものであるかを、電気自動車等にあつては、新規導入であるか又は既に導入されていたものであるかを問わないものとする。
- (5) 家庭用燃料電池システム（エネファーム）、定置用リチウムイオン蓄電システム、太陽熱利用システム又はV2H充放電設備を設置する住宅は、次のいずれかに該当すること。
- ア 補助事業を実施する者自らが所有し、かつ、居住する市内に所在する住宅
 - イ 補助事業を実施する者自らの居住の用に供するために市内に新築する住宅

ウ 補助事業を実施する者の居住の用に供するために取得する、未使用の補助対象設備が住宅を販売する事業者等によりあらかじめ設置された市内に所在する住宅

エ 第三者が所有し、補助事業を実施する者自らが居住する市内に所在する住宅

- (6) 集合住宅用充電設備を設置する住宅は、次に掲げる要件を満たすこと。
- ア 既存の共同住宅又は長屋（以下「マンション等」という。）であり、設備はマンション等に属する駐車場（平置き、立体自走、機械式等）における充電設備として居住者が利用できるものであること。
- イ 住民以外も充電設備を利用可能な場合の補助を受けようとするときは、市への実績報告の日までに、集合住宅用充電設備を導入するマンション等の敷地の外から、住民以外も充電設備を利用することができることの記載がされた案内板が確認できること。
- (7) 住民の合意形成のための資料の対象となる住宅は、マンション管理組合が管理するマンション等であること。

（補助対象者）

第4条 補助金の交付を受けることができる者（以下「補助対象者」という。）は、補助金の交付を申請する年度内に補助事業を実施し、かつ、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当するものとする。

- (1) 個人（集合住宅用充電設備を設置する者を除く。）においては、市内に住所を有すること（市への実績報告の日までに住民登録をする場合を含む。）。
- (2) 補助事業を行う者は、市税を滞納していないこと。
- (3) 補助対象設備の設置費等を負担し、補助対象設備等を所有すること。ただし、所有権留保付きローン（残価設定型の契約を含む。）で購入し、所有者が販売店又はファイナンス会社等である場合及びリースにより導入し、所有者がリース事業者等である場合を含むものとする。
- (4) 補助対象設備の導入をリースで行う場合には、設置者とリース事業者が共同で補助事業を行うものとする。また、リース事業者は、リースを受ける者から領収する月額リース料金を減額する形で補助金相当分を還元するものとする。ただし、リース契約については、次のいずれかを満たすことを要件とする。
- ア リース期間が第14条第2項に規定する財産処分制限期間以上の契約となっていること。
- イ アを満たさない場合は、リース期間終了後に設置者が補助対象設備を

購入する契約となっていること。

- (5) 集合住宅用充電設備を設置する者は、設備を設置するマンション等のマンション管理組合又は所有者であり、集合住宅用充電設備の設置に当たって、国が実施するクリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金の交付決定通知を受けていること。
 - (6) 住民の合意形成のための資料を作成する者は、充電設備を導入しようとするマンション等のマンション管理組合であること。
 - (7) 補助対象設備を設置する住宅が前条第2号イ（イ）又は第5号エに該当する場合は、全ての所有者から補助事業の実施について同意を得ている者
 - (8) 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、集合住宅用充電設備及び住民の合意形成のための資料を除く補助対象設備を設置する住宅において、設置する設備と同じ種類の補助対象設備に対し、自ら又は自らと同一の世帯を構成する者が、富里市住宅用省エネルギー設備設置補助金交付要綱又はこの要綱に基づく補助を受けていないこと。
 - (9) 補助対象設備が電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車の場合は、導入する住宅において、補助対象者がこの要綱に基づき同じ種類の補助対象設備の補助を受けていないこと。
 - (10) 補助対象設備が集合住宅用充電設備の設置及び住民の合意形成のための資料の作成の場合は、同一の工事において、この要綱に基づき同じ種類の補助対象設備の補助を受けていない者
- 2 前項の規定にかかわらず、補助を受けようとする事業を行う者が次の各号のいずれかに該当する者であるときは、当該事業は補助対象とならない。
- (1) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）
 - (2) 次のいずれかに該当する行為（イ又はウに該当する行為であって、法令上の義務の履行としてするものその他正当な理由があるものを除く。）をした者（継続的に又は反復して当該行為を行うおそれがないと認められる者を除く。）
 - ア 自己若しくは他人の不正な利益を図る目的又は他人に損害を加える目的で、状を知って、法第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）又は暴力団員を利用する行為
 - イ 暴力団の活動を助長し、又は暴力団の運営に資することとなることを知りながら、暴力団員又は暴力団員等が指定した者に対して行う、金

品その他財産上の利益若しくは便宜の供与又はこれらに準ずる行為
ウ 市の事務又は事業に関し、請負契約、物品を購入する契約その他契約
の相手方（法人その他の団体にあつては、その役員等）が暴力団員で
あることを知りながら、当該契約を締結する行為

- (3) 暴力団又は暴力団員と社会的に避難されるべき関係を有している者
(補助対象経費と補助金の額)

第5条 補助の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は補助事業
を実施する者が負担した設置費等のうち別表第2に示すものとし、補助金の
額は別表第3のとおりとする。

- 2 前項の補助対象経費の算出に当たっては、消費税及び地方消費税相当額を
控除するものとし、設置費等に国その他の団体からの補助金を充当する場合
は、更に当該補助金の額を控除した額とする。
- 3 補助金は電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、集合住宅用充電設
備及び住民の合意形成のための資料を除く補助対象設備の種類ごとに、一の
住宅に1回（集合住宅の専有部分において利用する設備の設置にあつては1
戸に限り1回）に限り交付する。ただし、過去に補助金の交付を受けた者と
異なる世帯を構成する者が設備を設置する場合は、この限りでない。
- 4 補助金は電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車については、導入
する住宅において、補助対象設備の種類ごとに、補助金の交付を受けようと
する者（以下「申請者」という。）一人につき1回に限り交付する。
- 5 補助金は集合住宅用充電設備及び住民の合意形成のための資料については、
補助対象設備の種類ごとに、同一の工事につき1回に限り交付する。

（交付の申請）

第6条 申請者は、補助対象設備の設置工事等に着手する前（第3条第5号ウ
に該当する住宅を取得する場合は、住宅の引渡しを受ける前）に、富里市住
宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付申請書（別記第1号様式）に、次に
掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。ただし、補助対象設備
が集合住宅用充電設備の場合は、工事の着手後に提出することができる。

- (1) 補助対象設備の概要（別記第1号様式別紙1）
- (2) 補助対象設備の設置等に係る経費の内訳が記載された契約書、注文書等
の写し（補助対象設備の導入をリースで行う場合は、リース事業者が購
入する設備の購入費又は工事費が確認できる書類及びリース契約書の写
し）
- (3) 貸与料金の算定根拠明細書（別記第1号様式別紙2）（補助対象設備の
導入をリースで行う場合に限る。）

- (4) 補助対象設備の技術仕様が確認できるカタログ、仕様書等の写し（補助対象設備が住民の合意形成のための資料の場合を除く。）
- (5) 補助対象設備の設置予定図面（補助対象設備が窓の断熱改修の場合は、平面図及び立面図。補助対象設備が電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び住民の合意形成のための資料の場合を除く。）
- (6) 補助対象設備の設置工事着工前の現況写真（補助対象設備が電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び住民の合意形成のための資料を除く。）
- (7) 一般社団法人次世代自動車振興センターへ提出した交付申請書類一式及び当該申請に係る交付決定書類の写し（補助対象設備が集合住宅用充電設備の場合に限る。）
- (8) マンション等に係る以下の書類（補助対象設備が集合住宅用充電設備及び住民の合意形成のための資料の場合に限る。）
 - ア マンション管理組合の現在の代表者が選定されたことを証する書類の写し（マンション等の所有者である場合を除く。）及び代表者の本人確認書類（免許証、健康保険証、住民票等）の写し
 - イ マンション等であることを証する書類（建築確認通知書、建築基準法（昭和25年法律第201号）第6条の規定による確認済証、賃貸契約書等でマンション等であることが明記されている書類）
- (9) 補助事業を行う者の市税の滞納がないことを明らかにする書類
- (10) その他市長が必要と認める書類
(交付等の決定)

第7条 市長は、前条の申請書が提出されたときは、速やかにその内容を審査し、補助金交付の可否を決定するとともに、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付（不交付）決定通知書（別記第2号様式）により、申請者に通知するものとする。

(変更の申請)

第8条 補助金の交付の決定を受けた者（以下「交付決定者」という。）は、第6条の申請書に記載した事項を変更しようとするときは、速やかに富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金変更申請書（別記第3号様式）を市長に提出し、その承認を受けなければならない。

2 市長は、前項の規定により申請書が提出されたときは、速やかにその内容を審査し、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金変更承認（不承認）通知書（別記第4号様式）により、当該申請者に通知するものとする。

(申請の取下げ)

第9条 交付決定者は、補助対象設備の導入を中止しようとするときは、速やかに富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付申請取下書（別記第5号様式）を市長に提出しなければならない。

（実績報告）

第10条 交付決定者は、補助事業の完了の日から起算して30日以内又は補助金の交付の決定を受けた日の属する年度の3月10日（同日が閉庁日の場合は、翌日以降の最初の開庁日）のいずれか早い日までに、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金実績報告書（別記第6号様式。以下「実績報告書」という。）に次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。

- (1) 補助対象設備の概要（別記第6号様式別紙）
- (2) 補助対象設備の設置費等の支払を証する書類及び内訳書の写し（補助対象設備の導入をリースで行う場合を除く。）
- (3) 補助対象設備の設置状況が確認できる写真（補助対象設備が電気自動車等の場合は、保管場所において撮影した写真。住民の合意形成のための資料の場合を除く。）
- (4) 次のいずれかの書類
 - ア 補助対象設備が未使用品であることを確認できる書類の写し（補助対象設備が電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び住民の合意形成のための資料の場合を除く。）
 - イ 窓の性能を証明する書類の写し（補助対象設備が窓の断熱改修の場合に限る。）
- (5) 住民票の写し（補助対象設備が集合住宅用充電設備及び住民の合意形成のための資料の場合を除く。）
- (6) その他市長が必要と認める書類

2 交付決定者は、前項の規定による報告をする場合には、同項に掲げる書類のほか、次の各号に掲げる区分に該当するときは、それぞれ当該各号に掲げる書類を実績報告書に添付しなければならない。

- (1) 補助対象設備が定置用リチウムイオン蓄電システムの場合 補助対象設備を設置する住宅が第3条第1号に該当することを証する書類
- (2) 補助対象設備が窓の断熱改修の場合 補助対象設備を設置する住宅が第3条第2号アに該当することを証する書類
- (3) 補助対象設備が電気自動車等の場合 次に掲げる書類
 - ア 電気自動車等を購入する者が居住する住宅が第3条第3号アに該当することを証する書類
 - イ 自動車検査証の写し（自動車検査証が電子化されている場合は、自

動車検査証及び自動車検査証記録事項の写し)

- ウ 住宅用太陽光発電設備及びV2H充放電設備を併設する場合の補助を受けようとするときは、V2H充放電設備を設置していることを証する書類
- (4) 補助対象設備がV2H充放電設備の場合 補助対象設備を設置する住宅が第3条第4号に該当することを証する書類
- (5) 補助対象設備が集合住宅用充電設備の場合 次に掲げる書類
- ア 一般社団法人次世代自動車振興センターへ提出した実績報告書類一式の写し
- イ アの実績報告に係る申請の額の確定書類の写し（一般社団法人次世代自動車振興センターへ変更の申請をしている場合に限る。）
- ウ 住民以外も充電設備を利用可能な場合の補助を受けようとするときは、マンション等の敷地の外から撮影した、住民以外も充電設備を利用することができることの記載がされた案内板と周囲の景観が確認できる写真
- (6) 補助対象設備が住民の合意形成のための資料の場合 作成した充電設備の設置場所見取図、平面図、電気系統図、配線ルート図、住民の費用負担のシミュレーション等の資料の写し及びマンション管理組合の総会で集合住宅用充電設備の導入についての議論が行われたことが確認できる議事録等

(補助金額の確定)

第11条 市長は、前条の規定により実績報告書が提出されたときは、必要に応じ現地調査を行うなどその内容を審査し、適正と認めたときは補助金の額を確定し、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金確定通知書（別記第7号様式）により、当該実績報告書を提出した者に通知するものとする。

(交付の請求)

第12条 前条の規定により補助金の額の確定通知を受けた者は、その通知を受けた日から起算して30日を経過した日又は補助金の交付の決定を受けた日の属する年度の3月20日（同日が閉庁日の場合は、翌日以降の最初の開庁日）のいずれか早い日までに、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付請求書（別記第8号様式）を市長に提出しなければならない。

(財産の管理)

第13条 この要綱に基づき補助金の交付を受けて補助事業を実施した者（以下「補助事業実施者」という。）は、補助事業により取得し、又は効用の増加した財産（以下「受益財産」という。）について、補助事業の完了後において

ても善良な管理者の注意をもって適正に管理するとともに、補助金の交付の目的に従ってその効率的な運用を図らなければならない。

(処分の制限)

第14条 補助事業実施者は、受益財産について、市長が指定する期間（以下「財産処分制限期間」という。）は、この補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、担保に供し、取り壊し、又は廃棄してはならない。ただし、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金処分承認申請書（別記第9号様式）により市長の承認を得た場合は、この限りでない。

2 前項で定める財産処分制限期間は、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）に定める耐用年数を勘案し、次の各号に掲げる補助対象施設に応じ、それぞれ当該額号に定める年数とする。

- (1) 家庭用燃料電池システム（エネファーム） 6年
- (2) 定置用リチウムイオン蓄電システム 6年
- (3) 窓の断熱改修 10年
- (4) 太陽熱利用システム 15年
- (5) 電気自動車 4年
- (6) プラグインハイブリッド自動車 4年
- (7) V2H充放電設備 5年
- (8) 集合住宅用充電設備 5年

3 市長は、第1項の規定による申請書が提出されたときは、その内容を審査し、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金処分承認（不承認）通知書（別記第10号様式）により、当該申請者に通知するものとする。

4 補助金の交付を受けた者は、前項の規定による通知を受けた場合において、財産処分制限期間の満了日までの月数（1か月未満の期間は算入しない。）の割合に相当する補助金額（千円未満の端数があるときは、その端数は切り捨てるものとする。）を返還しなければならない。

5 前項の規定にかかわらず、当該処分が天災、本人の責めに帰さない事故その他のやむを得ない事由による場合において、市長は返還すべき補助金額の全部又は一部を免除することができる。

(交付決定の取消し等)

第15条 市長は、交付決定者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、補助金の交付の決定の全部又は一部を取り消すことができる。

- (1) 偽りその他不正な手段により補助金の交付の決定を受けたとき。
- (2) この要綱に違反したとき。

2 市長は、前項の規定により補助金の交付の決定を取り消したときは、富里

市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付決定取消通知書（別記第11号様式）により、その者に通知するものとする。

（補助金の返還）

第16条 市長は、前条第1項の規定により補助金の交付の決定を取り消した場合において、既に当該補助金を交付しているときは、その者に対し期限を定めて当該補助金の返還を命ずるものとする。

（協力の義務）

第17条 補助事業実施者は、市長から事業効果等に関する資料の提供を求められたときは、協力しなければならない。

（暴力団密接関係者）

第18条 規則第20条第1項第3号の市長が定める者は、第4条第2項第2号又は第3号に該当する者とする。

（補則）

第19条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

（施行期日）

1 この告示は、公示の日から施行する。

（失効）

2 この告示は、令和8年3月31日限り、その効力を失う。

（失効に伴う経過措置）

3 前項の規定によるこの告示の失効の際現にこの告示に基づいて交付されている補助金に係る交付決定の取消し及び補助金の返還請求については、この告示の失効にかかわらず、第15条及び第16条の規定は、なおその効力を有する。

別表第1（第2条関係）

補助対象設備の要件

設備の種類	設備の要件
家庭用燃料電池システム（エネファーム）	燃料電池ユニット、貯湯ユニット等から構成され、都市ガス、LPガス等から燃料となる水素を取り出して空気中の酸素と反応させて発電し、発電時の排熱を給湯等に利用できるもののうち、一般社団法人燃料電池普及促進協会の機器登録を受けているものであること。ただし、停電時自立運転機能を有するものに限る。
定置用リチウムイオン蓄電シス	リチウムイオン蓄電池部（リチウムイオンの酸化及び還元で電氣的にエネルギーを供給する蓄電池をいう。）、

<p>テム</p>	<p>インバータ等の電力変換装置を備え、再生可能エネルギーにより発電した電力、夜間電力等を繰り返し蓄え、停電時や電力需要ピーク時など必要に応じて電気を活用することができるもののうち、国が令和3年度以降に実施する補助事業における補助対象機器として、一般社団法人環境共創イニシアチブにより登録されているものであること。</p>
<p>窓の断熱改修</p>	<p>既存住宅に設置されている窓を、断熱性能が高い窓へ改修するに当たり、次の要件を満たすこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 国が令和3年度以降に実施する補助事業の補助対象機器として、一般社団法人環境共創イニシアチブ又は公益財団法人北海道環境財団により登録されているものであること。 (2) 1居室（居住、作業、娯楽などの目的のために継続的に使用する、壁、ドア、障子、襖等で仕切られている空間をいう。ただし、空気が通り抜けてしまう簡易的な仕切り（カーテン、ロールスクリーン等）は、居室を区切る仕切りとして認めない。）単位で外気に接する全ての窓の断熱化をすること。 (3) リビング、ダイニング、寝室、子ども部屋等の施設を補助の対象とする (4) キッチン、階段、踊り場、納戸、廊下、玄関、トイレ、浴室、屋内ガレージ等の施設は、補助の対象としない。 (5) 換気小窓（障子に組み込まれ、障子を閉めた状態で換気を行うことができる小窓をいう。）、300mm×200mm以下のガラスを用いた窓及び換気を目的としたジャロジー窓、テラスドア・勝手口ドアに附属する窓及びガラス等は、改修を要件としない。ただし、補助対象製品を用いた改修を行う場合は、補助対象とすることができる。
<p>太陽熱利用システム</p>	<p>集熱器により太陽の熱エネルギーを集めて給湯又は空調等に利用するシステムで、動力を使用して熱媒等を循環させるもののうち、一般財団法人ベターリビングにより優良住宅部品（BL部品）として認定を受けているも</p>

	<p>の。ただし、集熱方式が「自然循環型」に分類されるものを除く。</p>
電気自動車	<p>電池によって駆動される電動機のみを原動機とし、内燃機関を併用しない自動車（道路運送車両法（昭和26年法律第185号）第60条第1項の規定による自動車検査証の交付を受けた同法第2条第2項に規定する自動車をいう。以下同じ。）で、自動車検査証に当該自動車の燃料の種類が「電気」と記載されているもののうち、次に掲げる要件を満たすもの。ただし、自動車検査証の用途が「乗用」、自家用・事業用の別が「自家用」と記載されている四輪のものに限る。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 申請者が補助金の交付を受けるに当たり、新車として新たに購入したもの（中古の輸入車の初度登録車を除く。）であること。 (2) 自動車検査証の使用の本拠の位置が、使用者の住所と一致すること。 (3) 自動車検査証の登録年月日又は交付年月日が、補助金の交付を受ける年度内の日付であること。 (4) 国が令和3年度以降に実施する補助事業において、一般社団法人次世代自動車振興センターにより補助対象とされている電気自動車であること。
プラグインハイブリッド自動車	<p>電池によって駆動される電動機と内燃機関を原動機として併用し、かつ外部からの充電が可能な自動車で、自動車検査証に当該自動車の燃料の種類が「ガソリン・電気」と記載されているもののうち、次に掲げる要件を満たすもの。ただし、自動車検査証の用途が「乗用」で、自家用・事業用の別が「自家用」と記載されている四輪のものに限る。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 申請者が補助金の交付を受けるに当たり、新車として新たに購入したもの（中古の輸入車の初度登録車を除く。）であること。 (2) 自動車検査証の使用の本拠の位置が、使用者の住所と一致すること。 (3) 自動車検査証の登録年月日又は交付年月日が、補助金の交付を受ける年度内の日付であること。

	<p>(4) 国が令和3年度以降に実施する補助事業において、一般社団法人次世代自動車振興センターにより補助対象とされているプラグインハイブリッド自動車であること。</p>
V2H充放電設備	<p>電気自動車等と住宅の間で相互に電気を供給できる設備のうち、国が令和3年度以降に実施する補助事業において、一般社団法人次世代自動車振興センターにより補助対象とされているものであること。</p>
集合住宅用充電設備	<p>集合住宅の管理者等が電気自動車等に充電するために設置する以下の設備のうち、国が令和3年度以降に実施する補助事業において、一般社団法人次世代自動車振興センターにより補助対象とされているものであること。</p> <p>(1) 急速充電設備</p> <p>電源から充電用の直流電力を作り出す電源装置及び電気自動車等に搭載された電池への充電を制御する機能を有する、1基当たりの定格出力が10kW以上のもので、充電コネクタ、ケーブルその他の装備一式を備えたものをいう。</p> <p>(2) 普通充電設備</p> <p>漏電遮断機能及びコントロールパイロット機能を有する、1基当たりの定格出力が10kW未満のもので、充電コネクタ、ケーブルその他の装備一式を備えたものをいう。</p> <p>(3) 蓄電池付急速充電設備</p> <p>主として電気自動車等の充電のために蓄電する電池を備えた、1基当たりの定格出力が50kW以上の急速充電設備で充電コネクタ、ケーブルその他装備一式を備えたものをいう。</p> <p>(4) 充電用コンセント</p> <p>電気自動車等に附属する充電ケーブルを接続する200V対応の電気自動車等専用のプラグの差込口をいう。</p> <p>(5) 充電用コンセントスタンド</p> <p>充電用コンセントを装備する盤状又は筒状の筐体をいう。</p>

住民の合意形成のための資料	マンション管理組合が住民の合意形成のために作成する充電設備の導入に係る説明資料（充電設備の設置場所見取図、平面図、電気系統図、配線ルート図及び住民の費用負担のシミュレーション等）で、当資料を使用することにより、マンション管理組合の総会で集合住宅用充電設備の導入についての議論が行われるものであること。
---------------	--

別表第2（第5条関係）

補助対象経費

設備の種類	補助対象経費
家庭用燃料電池システム（エネファーム）	設備本体（燃料電池ユニット、貯湯ユニット等）及び附属品（給湯器、リモコン等）の購入費、工事費（据付工事、配線工事、配管工事等）
定置用リチウムイオン蓄電システム	設備本体（蓄電池部、電力変換装置、蓄電システム制御装置等）及び附属品（計測・表示装置、キュービクル等）の購入費、工事費（据付工事、配線工事等）
窓の断熱改修	設備本体（ガラス及び窓）及び高断熱窓の設置と不可分の工事費（窓及びガラスの取付費、内窓の取付時に必要な額縁、ふかし枠、カバー工法によるサッシ、外部・内部シーリング等の費用、仮設足場費、既存設備の解体撤去費等） 網戸、雨戸等の窓附属部材費は、対象経費から除く。
太陽熱利用システム	設備本体（集熱器、蓄熱槽等）、架台及び附属機器（集熱配管、リモコン等）の購入費、工事費（据付工事、配線工事、配管工事等）
電気自動車	電気自動車本体の購入費
プラグインハイブリッド自動車	プラグインハイブリッド自動車本体の購入費
V2H充放電設備	V2H充放電設備本体の購入費
集合住宅用充電設備	急速充電設備、普通充電設備、蓄電池付急速充電設備、充電用コンセント及び充電用コンセントスタンド本体の購入費
住民の合意形成のための資料	充電設備の設置場所見取図、平面図、電気系統図、配線ルート図及び住民の費用負担のシミュレーション等の作

	成費（事業者への外注費に限る。）
--	------------------

別表第3（第5条関係）

補助金の額

設備の種類	補助金の額
家庭用燃料電池システム（エネファーム）	上限10万円
定置用リチウムイオン蓄電システム	上限7万円
窓の断熱改修	補助対象経費に4分の1を乗じて得た額（上限8万円）
太陽熱利用システム	上限5万円
電気自動車・プラグインハイブリッド自動車	住宅用太陽光発電設備及びV2H充放電設備を併設する場合 上限15万円
	住宅用太陽光発電設備を併設する場合 上限10万円
V2H充放電設備	補助対象経費に10分の1を乗じて得た額（上限25万円）
集合住宅用充電設備（急速充電設備・普通充電設備・蓄電池付急速充電設備・充電用コンセント・充電用コンセントスタンド）	住民のみ充電設備を利用可能な場合 設備本体の購入費に係る国が実施するクリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金の補助金額に3分の1を乗じて得た額（1基当たり上限50万円）
	住民以外も充電設備を利用可能な場合 設備本体の購入費に係る国が実施するクリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金の補助金額に3分の2を乗じて得た額（1基当たり上限100万円）
住民の合意形成のための資料	上限15万円

別記

第1号様式（第6条関係）

富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付申請書

年 月 日

富里市長

様

申請者 住 所
氏 名
電話番号

印

富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金の交付を受けたいので、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付要綱第6条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

補助対象設備の種類 ※該当する設備に☑	<input type="checkbox"/> 家庭用燃料電池システム（エネファーム） <input type="checkbox"/> 定置用リチウムイオン蓄電システム <input type="checkbox"/> 窓の断熱改修 <input type="checkbox"/> 太陽熱利用システム <input type="checkbox"/> 電気自動車 <input type="checkbox"/> プラグインハイブリッド自動車 <input type="checkbox"/> V2H充放電設備 <input type="checkbox"/> 集合住宅用充電設備 <input type="checkbox"/> 住民の合意形成のための資料
補助対象設備を導入する住宅等の所在地	
補助金交付申請額	円
補助対象設備の概要	別紙のとおり
補助対象設備を設置する建物等の種類別 (いずれかに○印) ※窓の断熱改修は、 1のみ	1 既存の住宅に補助対象設備を設置する。 2 未使用の補助対象設備が設置された住宅を取得する。 3 住宅の新築に併せて補助対象設備を設置する。 (2、3の場合 入居予定 年 月)
補助対象設備を設置する住宅等の所有者氏名 ※集合住宅は専有部分	
※申請者と所有者が異なる場合は、下記に所有者が署名してください。 (電気自動車、プラグインハイブリッド自動車を除く。) 私は、私の所有する住宅に補助金申請者が富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金の交付対象となる設備を設置することについて、同意しています。	
署名 _____	
私の市税の納付状況について市長が確認することに 同意します ・ 同意しません (該当する方に○印)	
署名 _____ 生年月日 _____ 年 月 日	
※同意したときは、添付書類のうち9の提出は必要ありません。	

(添付書類)

- 1 補助対象設備の概要 (別紙1)
- 2 補助対象設備の設置等に係る経費の内訳が記載された契約書、注文書等の写し (補助対象設備の導入をリースで行う場合は、リース事業者が購入する設備の購入費又は工事費が確認できる書類及びリース契約書の写し)
- 3 貸与料金の算定根拠明細書 (別紙2)
(補助対象設備の導入をリースで行う場合のみ)
- 4 補助対象設備の技術仕様が確認できるカタログ、仕様書等の写し
(住民の合意形成のための資料を除く。)
- 5 補助対象設備の設置予定図面 (窓の断熱改修においては、平面図及び立面図。電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び住民の合意形成のための資料を除く。)
- 6 補助対象設備の設置工事着工前の現況写真 (電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び住民の合意形成のための資料を除く。)
- 7 一般社団法人次世代自動車振興センターへ提出した交付申請書類一式及び当該申請に係る交付決定書類の写し (集合住宅用充電設備のみ)
- 8 マンション等に係る以下の書類 (集合住宅用充電設備及び住民の合意形成のための資料のみ。)
 - (1) マンション管理組合の現在の代表者が確定されたことを証する書類の写し (マンション等の所有者である場合は除く。) 及び代表者の本人確認書類 (免許証、健康保険証、住民票等) の写し
 - (2) マンション等であることを証する書類 (建築確認通知書、建築基準法第6条の規定による確認済証、賃貸契約書等でマンション等であることが明記されている書類)
- 9 補助事業を行う者の市税の滞納がないことを明らかにする書類
- 10 登記事項証明書 (現在事項全部証明書又は履歴事項全部証明書 (法人のみ))
- 11 その他市長が必要と認める書類

第1号様式別紙1

補助対象設備の概要

1 家庭用燃料電池システム（エネファーム）

製造者名		
品名番号（発電ユニット）		
品名番号（貯湯ユニット）		
発電出力（kW）		k W
停電時自立運転機能		<input type="checkbox"/> あり
事業期間	着工予定日	年 月 日
	完了予定日	年 月 日
補助対象経費（消費税及び地方消費税を除く。）		円

2 定置用リチウムイオン蓄電システム

製造者名		
パッケージ型番		
SII登録年月日		年 月 日
蓄電容量（kWh）		k W h
住宅用太陽光発電設備		<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既設 ※該当する方に <input checked="" type="checkbox"/>
事業期間	着工予定日	年 月 日
	完了予定日	年 月 日
補助対象経費（消費税及び地方消費税を除く。）		円

3 窓の断熱改修

メーカー名		
SII/北海道環境財団登録番号		
製品名		
SII/北海道環境財団登録年月日		年 月 日
事業期間	着工予定日	年 月 日
	完了予定日	年 月 日
補助対象経費（消費税及び地方消費税を除く。）		円
補助対象経費の4分の1 （1,000円未満切捨て）		円

4 太陽熱利用システム

製造者名		
型式		
集熱面積 (m ²)		m ²
事業期間	着工予定日	年 月 日
	完了予定日	年 月 日
補助対象経費 (消費税及び地方消費税を除く。)		円

5 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車

メーカー名・車名		
型式		
住宅用太陽光発電設備		<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既設 ※該当する方に <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 発電した電気を電気自動車等に充電できる。
V2H充放電設備 ※該当する方に <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既設 ※該当する方に <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> なし
所有者	氏名又は名称	
	住所	
使用者	氏名	
	住所	
使用の本拠の位置		
補助対象経費 (消費税及び地方消費税を除く。)		円

6 V2H充放電設備

メーカー名		
型式		
住宅用太陽光発電設備		<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既設 ※該当する方に <input checked="" type="checkbox"/>
電気自動車等		<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既設 ※該当する方に <input checked="" type="checkbox"/>
事業期間	着工予定日	年 月 日
	完了予定日	年 月 日
補助対象経費 (消費税及び地方消費税を除く。)		円
補助対象経費の10分の1 (1,000円未満切捨て)		円

7 集合住宅用充電設備

マンション等の名称		
マンション等の所在地		
メーカー名		
型式		
充電設備の住民以外の利用		<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
事業期間	着工予定日	年 月 日
	完了予定日	年 月 日
補助対象経費（消費税及び地方消費税を除く。）		円
国が実施するクリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金の補助金額		円
(住民以外の利用ありの場合) 国が実施するクリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金の補助金額の3分の2 (住民以外の利用なしの場合) 国が実施するクリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金の補助金額の3分の1 (1,000円未満切捨て)		円

8 住民の合意形成のための資料

マンション等の名称		
マンション等の所在地		
資料作成事業者名		
作成する資料の種類	充電設備に係る <input type="checkbox"/> 設置場所見取図 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 電気系統図 <input type="checkbox"/> 配線ルート図 <input type="checkbox"/> 住民の費用負担のシミュレーション <input type="checkbox"/> その他 ()	
補助対象経費（消費税及び地方消費税を除く。）		円

第1号様式別紙2

貸与料金の算定根拠明細書

富里市長

様

リース事業者 住 所
名 称
代表者職・氏名
電 話 番 号

リース先 住 所
氏 名
電 話 番 号

補助事業で導入する設備については、次のとおりであることについて間違いありません。

また、注意事項に記載されている内容について間違いがないこと、補助金交付後も遵守することを誓約します。

対 象 設 備	リ ー ス 期 間 (月数)	補 助 金 額 (円)			リ ー ス 料 総 額 (円) ※前払金を含む、税抜き金額		
		富 里 市 補 助 金 (a)	国 の 補 助 金 (b)	合 計 (c) ((a)+(b))	補 助 金 な し の 場 合 (d)	補 助 金 あ り の 場 合 (e)	差 額 (f) ((d)-(e))

(注意事項)

- ・補助金ありの場合のリース料総額(e)又はこれをリース期間で除した月額リース料金が、リース契約書で確認できること。リース契約書から、これが確認できない場合は、補助金額をリース料金から差し引いてリース契約を再締結するか、補助金額確定後又は入金後に補助金額をリース料から減額し、月々のリース料へ反映することを明記した覚書等をリース事業者及びリース先で締結した上で提出すること。
- ・補助金ありの場合となしの場合のリース料総額の差額(f)が、補助金額合計(c)以上であること。
- ・富里市補助金の金額分は、月額リース料金を減額する形で貸与先に還元されること。リース契約とは別に貸与先に支払われる形は認められない。
- ・リース期間が財産処分制限期間より短い場合は、リース期間終了後にリース先が対象設備を購入する契約となっていること。

第2号様式（第7条関係）

富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付（不交付）決定通知書

指令第 号
年 月 日

様

富里市長



年 月 日付で申請のあった富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金の交付については、下記のとおり決定したので、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付要綱第7条の規定により通知します。

記

1 決定区分 交付（不交付）

交付決定額 円

（内訳）	家庭用燃料電池システム（エネファーム）	円
	定置用リチウムイオン蓄電システム	円
	窓の断熱改修	円
	太陽熱利用システム	円
	電気自動車	円
	プラグインハイブリッド自動車	円
	V2H充放電設備	円
	集合住宅用充電設備	円
	住民の合意形成のための資料	円

2 交付の条件（不交付の理由）

第3号様式（第8条関係）

富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金変更申請書

年 月 日

富里市長 様

申請者 住 所
氏 名 ⑩
電話番号

年 月 日付け指令第 号をもって補助金の交付決定のあった補助対象設備について変更したいので、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付要綱第8条第1項の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 変更の内容

2 変更の理由

第4号様式（第8条関係）

富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金変更承認（不承認）通知書

指令第 号
年 月 日

様

富里市長



年 月 日付けで申請のあった変更については、下記のとおり承認（不承認）としたので、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付要綱第8条第2項の規定により通知します。

記

1 決定区分 承認（不承認）

承認による交付決定額	円
（内訳） 家庭用燃料電池システム（エネファーム）	円
定置用リチウムイオン蓄電システム	円
窓の断熱改修	円
太陽熱利用システム	円
電気自動車	円
プラグインハイブリッド自動車	円
V2H充放電設備	円
集合住宅用充電設備	円
住民の合意形成のための資料	円

2 交付の条件（不承認の理由）

第5号様式（第9条関係）

富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付申請取下書

年 月 日

富里市長 様

届出者 住 所
氏 名 ⑩
電話番号

年 月 日付け指令第 号をもって補助金の交付決定のあった富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金については、下記の理由により取り下げたいので、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付要綱第9条の規定により届け出ます。

記

1 交付決定額	円
(内訳)	
家庭用燃料電池システム（エネファーム	円
定置用リチウムイオン蓄電システム	円
窓の断熱改修	円
太陽熱利用システム	円
電気自動車	円
プラグインハイブリッド自動車	円
V2H充放電設備	円
集合住宅用充電設備	円
住民の合意形成のための資料	円

2 取下げの理由

第6号様式（第10条関係）

富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金実績報告書

年 月 日

富里市長 様

届出者 住 所
氏 名 ⑩
電話番号

年 月 日付け指令第 号をもって富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金の交付決定を受けた補助対象設備の導入が完了したので、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付要綱第10条の規定により次のとおり報告します。

補助金交付決定額	円
工事完了日 ※電気自動車・プラグインハイブリッド自動車 にあっては自動車検査証の登録年月日	年 月 日
私の住民登録について市長が確認することに 同意します ・ 同意しません （該当する方に○印） ※同意したときは、裏面の添付書類のうち9の提出は必要ありません。 （補助対象設備が集合住宅用充電設備又は住民の合意形成のための資料である場合にあっては、住民登録の確認は行いません。）	

下記を確認し、該当するものに☑

<input type="checkbox"/> 補助対象設備は未使用品（電気自動車・プラグインハイブリッド自動車にあっては新車）である。
<input type="checkbox"/> 補助対象設備は関係法令、制度、手続等に準拠し、設置等されている。

※添付書類は、裏面のとおりです。

(添付書類)

- 1 補助対象設備の概要（第6号様式別紙）
- 2 補助対象設備の設置費の支払を証する書類及び内訳書の写し（補助対象設備の導入をリースで行う場合を除く。）
- 3 補助対象設備の設置状況が確認できる写真（電気自動車等にあつては、保管場所において撮影した写真。住民の合意形成のための資料を除く。）
- 4 補助対象設備が未使用品であることを確認できる書類の写し（窓の断熱改修にあつては、窓の性能を証明する書類の写しでも差し支えない。電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び住民の合意形成のための資料を除く。）
- 5 補助対象設備が定置用リチウムイオン蓄電システムの場合は、補助対象設備を設置する住宅が要綱第3条第1号に該当することを証する書類
- 6 補助対象設備が窓の断熱改修の場合は、補助対象設備を設置する住宅が要綱第3条第2号アに該当することを証する書類
- 7 補助対象設備が電気自動車等の場合は、以下の書類
 - ア 電気自動車等を購入する者が居住する住宅が要綱第3条第3号アに該当することを証する書類
 - イ 自動車検査証の写し（自動車検査証が電子化されている場合は、自動車検査証及び自動車検査証記録事項の写し）
 - ウ 住宅用太陽光発電設備及びV2H充放電設備を併設する場合の補助を受けようとするときは、V2H充放電設備を設置していることを証する書類
- 8 補助対象設備がV2H充放電設備の場合は、補助対象設備を設置する住宅が要綱第3条第4号に該当することを証する書類
- 9 補助対象設備が集合住宅用充電設備の場合は、以下の書類。
 - ア 一般社団法人次世代自動車振興センターへ提出した実績報告書類一式の写し
 - イ アの実績報告に係る申請の額の確定書類の写し（一般社団法人次世代自動車振興センターへ変更の申請をしている場合のみ）
 - ウ 住民以外も充電設備を利用可能な場合の補助を受けようとするときは、マンション等の敷地の外から撮影した、住民以外も充電設備を利用することができることの記載がされた案内板と周囲の景観が確認できる写真
- 10 補助対象設備が住民の合意形成のための資料の場合は、作成した充電設備の設置場所見取図、平面図、電気系統図、配線ルート図、住民の費用負担のシミュレーション等の資料の写し及びマンション管理組合の総会等で集合住宅用充電設備の導入についての議論が行われたことが確認できる議事録等
- 11 住民票の写し（集合住宅用充電設備及び住民の合意形成のための資料を除く。）
- 12 その他市長が必要と認める書類

第6号様式別紙

補助対象設備の概要

1 家庭用燃料電池システム（エネファーム）

製造者名	
品名番号（発電ユニット）	
品名番号（貯湯ユニット）	
製造番号	
発電出力（kW）	kW
工事完了日	年 月 日
停電時自立運転機能	<input type="checkbox"/> あり
補助対象経費（消費税及び地方消費税を除く。）	円

2 定置用リチウムイオン蓄電システム

製造者名	
パッケージ型番	
SII登録年月日	年 月 日
蓄電容量（kWh）	kWh
工事完了日	年 月 日
住宅用太陽光発電設備	<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既設 ※該当する方に <input checked="" type="checkbox"/>
補助対象経費（消費税及び地方消費税を除く。）	円

3 窓の断熱改修

メーカー名	
SII/北海道環境財団登録番号	
製品名	
SII/北海道環境財団登録年月日	年 月 日
既存住宅への設置	<input type="checkbox"/> 設備の設置工事着工日は、設置する住宅の建築工事完了日以降である。
工事完了日	年 月 日
補助対象経費（消費税及び地方消費税を除く。）	円
補助対象経費の4分の1 （1,000円未満切捨て）	円

4 太陽熱利用システム

製造者名	
型式	
製造番号	
集熱面積 (㎡)	㎡
工事完了日	年 月 日
補助対象経費 (消費税及び地方消費税を除く。)	円

5 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車

メーカー名・車名		
型式		
住宅用太陽光発電設備		<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既設 ※該当する方に <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 発電した電気を電気自動車等に充電できる。
V2H充放電設備 ※該当する方に <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既設 ※該当する方に <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> なし
所有者	氏名又は名称	
	住所	
使用者	氏名	
	住所	
使用の本拠の位置		
補助対象経費 (消費税及び地方消費税を除く。)		円

6 V2H充放電設備

メーカー名		
型式		
住宅用太陽光発電設備		<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既設 ※該当する方に <input checked="" type="checkbox"/>
電気自動車等		<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 既設 ※該当する方に <input checked="" type="checkbox"/>
工事完了日		年 月 日
補助対象経費 (消費税及び地方消費税を除く。)		円
補助対象経費の10分の1 (1,000円未満切捨て)		円

7 集合住宅用充電設備

マンション等の名称	
マンション等の所在地	
メーカー名	
型式	
充電設備の住民以外の利用	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
工事完了日	年 月 日
補助対象経費（消費税及び地方消費税を除く。）	円
国が実施するクリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金の補助金額	円
国の補助金の変更の申請	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
（住民以外の利用ありの場合） 国が実施するクリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金の補助金額の3分の2 （住民以外の利用なしの場合） 国が実施するクリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金の補助金額の3分の1 （1,000円未満切捨て）	円

8 住民の合意形成のための資料

マンション等の名称	
マンション等の所在地	
資料作成事業者名	
作成する資料の種類	充電設備に係る <input type="checkbox"/> 設置場所見取図 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 電気系統図 <input type="checkbox"/> 配線ルート図 <input type="checkbox"/> 住民の費用負担のシミュレーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
総会での集合住宅用充電設備の導入に係る議論の結果	可決・否決・その他（ ）
集合住宅用充電設備の導入に係	

る今後の予定 (スケジュール・方針)	
補助対象経費 (消費税及び地方 消費税を除く。)	円

第7号様式（第11条関係）

富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金確定通知書

第 号
年 月 日

様

富里市長



年 月 日付で実績報告のあった補助対象設備の設置に係る補助金については、下記のとおり確定したので、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付要綱第11条の規定により通知します。

記

交付確定額

円

第 8 号様式 (第 1 2 条関係)

富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付請求書

年 月 日

富里市長 様

申請者 住 所
氏 名 ⑩
電話番号

年 月 日付け達第 号をもって確定通知のあった富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金について、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付要綱第 1 2 条の規定により下記のとおり請求します。

記

1 請求額 _____ 円

2 振込先

金融機関名 (ゆうちょ銀行以外)	銀行 金庫 農協 信用組合	本店 支店 支所 出張所
口座種別	普通 ・ 当座	
口座番号		
ゆうちょ銀行	通帳記号	
	1	0
口座名義人	フリガナ	
	氏 名	

第9号様式（第14条関係）

富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金処分承認申請書

年 月 日

富里市長 様

申請者 住 所
氏 名 ⑩
電話番号

年 月 日付け指令第 号をもって富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金の交付決定を受けた設備について、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付要綱第14条第1項の規定により次のとおり処分の承認を申請します。

処分する設備 ※該当するものに <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 家庭用燃料電池システム（エネファーム） <input type="checkbox"/> 定置用リチウムイオン蓄電システム <input type="checkbox"/> 窓の断熱改修 <input type="checkbox"/> 太陽熱利用システム <input type="checkbox"/> 電気自動車 <input type="checkbox"/> プラグインハイブリッド自動車 <input type="checkbox"/> V2H充放電設備 <input type="checkbox"/> 集合住宅用充電設備 <input type="checkbox"/> 住民の合意形成のための資料
処分の方法 ※該当するものに <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 売却 <input type="checkbox"/> 譲渡 <input type="checkbox"/> 交換 <input type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 担保 <input type="checkbox"/> 破棄 <input type="checkbox"/> 移設 <input type="checkbox"/> その他（ ）
処分の時期	年 月 日から 年 月 日まで
処分の理由	※具体的に記述してください。
処分の条件	※処分によって収益がある場合は、その額の見積りを記載してください。

第10号様式（第14条関係）

富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金処分承認（不承認）通知書

指令第 号
年 月 日

様

富里市長



年 月 日付けで申請のあった処分については、下記のとおり承認（不承認）としたので、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付要綱第14条第3項の規定により通知します。

年 月 日までに下記の金額を返還してください。

記

- 1 決定区分 承認（不承認）
- 2 承認の条件（不承認の理由）

3 納付額 円

第 1 1 号様式 (第 1 5 条関係)

富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付決定取消通知書

指令第 号
年 月 日

様

富里市長



年 月 日付け指令第 号をもって交付決定した富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金については、下記のとおりその全部（一部）を取り消したので、富里市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金交付要綱第 1 5 条第 2 項の規定により通知します。

記

- | | | |
|---|-------------|---|
| 1 | 取り消した補助金の額 | 円 |
| 2 | 取消後の補助金の額 | 円 |
| 3 | 取消しの内容とその理由 | |